

平成27年9月29日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

お客さまご提供の帳票・画面でUCDA認証『伝わるデザイン』を取得！

～ 「新契約申込手続画面」の認証取得は生保業界初 ～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（以下、UCDA）より、「新契約申込手続画面」「ご契約内容のお知らせ（1）」「年金支払請求書・ご請求のしおり（2）」において、わかりやすさのUCDA認証『伝わるデザイン』を取得しました。

このうち「新契約申込手続画面」は、タブレット型端末（エース・ウィズ）で手続きいただく画面であり、紙以外の媒体『端末画面』で本認証を取得したのは、生命保険業界で当社が初めてとなります。

- 1:年に1回、当社の生命保険にご加入のすべてのお客さまにご契約内容をお知らせする帳票。
- 2:年金をお受取りいただくための請求書、手続きの流れや請求書の記入要領をご案内するための帳票。

当社は、平成26年度から高齢のお客さまに「わかりやすく利便性の高いサービス」をお届けする「ベストシニアサービス」を推進し、規程・ルールの整備や帳票等の改善、お客さま対応品質の向上等に全社をあげて取り組んでいます。

この取組みの一環である帳票等の改善において、当社の代表的な3つの帳票・画面が、UCDAの評価基準を満たし、高い評価を受け認証取得となりました。認証取得した「新契約申込手続画面」「ご契約内容のお知らせ」は平成27年10月より、「年金支払請求書・ご請求のしおり」は平成28年5月より使用開始いたします。

今後も「わかりやすく利便性の高いサービス」をお届けするための改善を図ってまいります。

以上

【お問合せ先】
広報課 TEL.03-3434-9190

新帳票・新画面における主な改善ポイント

文字の大きさ、情報量

- ・「見やすさ」を向上するため、行間を広げ、文字を大きくするとともに、情報量を削減。

帳票	改善内容
年金支払請求書・ご請求のしおり	文字量を約 17%削減
ご契約内容のお知らせ	" 約 5%削減



文章

- ・「伝わりやすさ」を改善するため、はじめて読まれるお客さまでもご負担なく内容をご理解いただくため、「書類の目的」を帳票の冒頭に明確・端的に記載。

レイアウトや図表、色彩

- ・「見やすさ」「操作性」を改善するため、レイアウトや色彩、ボタンのサイズ、形を工夫。

帳票	改善内容
新契約申込手続画面	お客さまに選択いただくチェックボックス (<input checked="" type="checkbox"/>) のサイズを約 2 倍に拡大
ご契約内容のお知らせ 年金支払請求書・ご請求のしおり	高齢者や様々な色覚特性を持つ方などに配慮し、見分けやすい配色に変更

【ご参考】



一般社団法人ユニバーサル コミュニケーションデザイン協会は、2007年任意団体として設立(2009年11月に社団法人化)。視覚情報伝達の領域に、人間中心設計の考え方を導入。生活者の生命・財産に関わる金融コミュニケーションの分野を中心に、第三者機関として「わかりやすさ」の認証制度を行っています。産業・学術・生活者の第三者による研究および評価・改善活動で情報の伝達効率を向上させ、発信者である企業・団体と、受信者である生活者、双方の利益に資することを目指しています。